スマート農業先端機械操作体験研修（自動追従運搬車「フォローン」「Adam」
「CP200」+AR農作業補助アプリ「Agri-AR」）開催要領

1 目的

農業分野における担い手不足は深刻な状況であり、作業者の労務の軽減、一人当たり業務量の増加への対応は喫緊の課題となっている。

技術進歩の著しいスマート農業の先端機械のうち、自動追従運搬車「フォローン」「Adam」「CP200」は、作業者への追従機能やバッテリー駆動機能などにより、樹園地などへの導入によって、収穫作業等の効率化が期待される。また、AR農作業補助アプリ「Agri-AR」は初心者でも各種機能により、圃場作業支援(平行直線ガイド、畝・苗シミュレーション等)やスマートグラスによる農作業の模擬体験など様々な利用が可能となることが見込まれ、作業者の能力向上や経営体の広報活動等様々な利用場面が期待される。

そこで、担い手農家等を対象に、専門家による研修を実施し、県内でのスマート農業機械の導入・活用を促進する。

2 主催

農業技術課、農業大学校研修部

3 研修会場

農業大学校研修部 小諸市山浦 4857-1

4 日程及び内容

令和7年9月10日(水)

	時 間	内 容
受付	9:30~	農業大学校研修部 本館 合同教室
開会	9:45~	主催者挨拶・研修内容、日程説明
機器紹介	10:00~ 10:30~ 11:00~ 11:30~	(1)メーカーによる機能及び特徴紹介 ア (株)城南製作所社製「フォローン」 イ 輝翠 TECH(株)社製「Adam」 ウ (株)DONKEY 社製「CP200」 エ (株)Root 社製「Agri-AR」 ※各メーカー説明 25 分、質疑 5 分
昼食	12:00~	
実演	13:15~	(2)各機器の操作体験 4 グループに分かれ、各メーカー機器の操作体験 ※30 分×4
閉会	15:15	農大研修部ほ場（雨天時は室内で機器の使用体験）

5 受講対象者

スマート農業機械の導入・実践を検討している生産者団体（農業法人、作業受託組織、営農組合等）、農業経営体の代表者、農業機械操作者、研修部研修生

6 その他

受講料は無料とする